



# こんにちは日本共産党です ハ千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)

第417号

2019年8月5日

発行

日本共産党

ハ千代市議会議員団

ハ千代市大和田新田

312-5

## 公共施設をめぐる矛盾が拡大

学校の余裕教室を活用していたある団体の方から、「勝田台南小学校で学童保育が利用することになったので、使用できるのは来年3月までと言われた。突然そう言われて困っている、何とかしてほしい」との相談を受けました。

市は、現在公共施設等総合管理計画のもと、施設の老朽化や財政問題を理由に公共施設の統廃合が進められています。

教育センターは、今年3月議会で条例の改正を行い、今年10月には萱田小学校に移転することになっていました。ところが、その後、学級数や特殊学級の増などで余裕教室がなくなり、現在使用している床面積の3分の2の教育委員会第4会議室に緊急避難を余儀なくされています。

## 利用者の意見を反映して対策を講ずるべき

阿蘇・米本地域の統廃合問題では、地域住民の声も聴かず、教育委員会の方針を上意下達で押しつけてきました。しかし、住民の運動と戦いのなか米本団地に小学校を残すことができ、阿蘇小学校も存続の方向で決着が図られようとしています。

翻って、勝田台南小学校の問題では、利用者の意見をどうしたら反映できるのか、教育委員会のみならず、市役所全体で公共施設の在り方、現に利用している団体等の意見を吸い上げ、今後の方向性を示すべきです。

## みどりが丘小学校の学童保育所を敷地内に移設

みどりが丘小学校では、現在余裕教室で学童保育が行われていますが、生徒数の増加により、学童保育が利用できなくなる事態が想定されています。今後学校の敷地内に学童保育所を移設するとしています。

必要に迫られる中で、このような解決策を見出すことができるのですから、他の公共施設でも、住民・利用者の意見を率直に伺い、知恵を出し合い、工夫することで解決の糸口が見いだせるのではないのでしょうか。



日本共産党は、「住民こそ主人公」との立場から、これからの公共施設にかかわる諸問題についても、当初から住民懇談会などの機会を通して、住民とともに解決することを市当局に求めていきたいと思っております。